

広報 しろね

4

昭和51年 No. 235

◇人口の動き 3月1日現在 人口 32,792人 前月比 - 3人 (男 15,899人 女 16,893人) 世帯 7,102



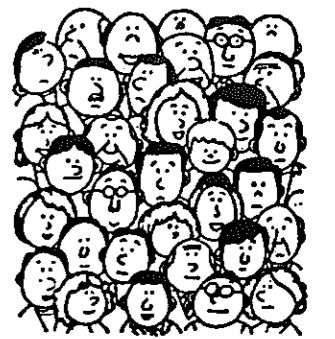
鳥さ——ん、おいで
卒業記念に愛の巣箱かけ

おてんば娘が、息はずませて走ってくる。小さな手のひらの中に、傷ついた山鳩を一羽——

夜おそくまで、看病していたのに、とうとう青い空と緑の森に帰れなかった。「かわいそう」にと、泣きじゃくったおさなころ。

小学校の卒業記念に、鳥の巣箱かけ。「鳥さんおいで、鳥さん育てて！」とひたすら祈りながら——

白根小(大島一夫校長) 6年生が総出で「ワイワイガヤガヤ」——でも、手づくりの巣箱は校庭にちゃんと取りつけました。



みんなの広場
市民総参加で作るページです。
意見、要望、提案
話題、文芸など、ご自由にお寄せください。電話でもけっこうです。

クラブ登場

白根MBC



健康で

ビューティフルなお母さんに

クラブ発足は三年前。「バレーボールの好きな者同士が集まりできたんですよ」と、加藤仁士コーチは話します。チームのモットーは「和」です。「和がなければ、技術の向上もありえない」というのが、部員たちの合言葉。
ふだんは忙しい奥さんたちも、火、木、土の夜、七時三十分からの二時間だけは家庭の雑務から開放される。いいこのひととき——
幸い良き指導者にも恵まれ、部員の腕もメキメキ上達。意気込みと熱心さは大変なもの。
昨年からは監督となった小野忍さんは「チームワークは満点。もつと多くの人から、この雰囲気味わってもらいたい。新入部員大歓迎——」と話しています。あなたも「健康で心豊かなビューティフルなお母さん」になつてみてはいかが——。

スポーツ少年卓球大会



2月14日、白根高校体育館で県スポーツ少年卓球大会がありました。出場選手は130人。

地元スポーツ少年の大活躍で、中学の部・女子団体1位、男子が2位になりました。個人戦では吉沢茂君(第一中)。船岡美子さん(第一中)が、1位の栄冠に輝きました。

白根高校白井分校が閉校

3月7日、白根高校白井分校で、閉校式が行なわれ、25年間の歴史を閉じました。同校は「勤労青少年にも勉強の場を——」という地域の人たちの熱意が実り、昭和26年に新津高校白井分校として開校しました。父兄や学校をあげての入学勧誘もむなしく、入学者の減少で姿消す同校。今年の卒業生は7人です。



まちわたい

市民文芸

〈川柳〉 白根川柳文芸会
体力をつける道具に犬を飼い 岡村 清
たたいまも言わぬ内から腹すいた 関根麗子
なびかない女り心わかる年齢 藤崎 実
やと芽の出た芸人の派手な服 今井七郎
福寿草あっても赤字の出る家庭 渡辺朱吉
不況下の職安だけが人で混み 成田吉子
病床の姉には伏せてる神だのみ 山崎 甲
ビーナツの毒気に大物床に伏し 吉川末吉
ひと言の少ない女にまた魅かれ 大井義雄
政治家の公約真意を計り兼ね 長井徳市
計算の割りに成果のないデパート 内山謙之助
今度こそ計ったつもりが妻にば 平松豊英
後藤マサノ

■春の市民登山 4月11日(日)午前6時 北越銀行前出発。会費1,800円。二王子岳(1,421m・新発田市)申し込み 4月5日まで市内各スポーツ店へ。